

**「主がヨセフとともにおられたので」**

創世記 37 章～41 章 45 節  
～ヨセフの生涯（1）～

**はじめに**

旧約聖書からその中心人物を取り上げて学んで来ました。アブラハム、イサク、ヤコブを学び、今回はヤコブの子ヨセフの生涯をとりあげます。ヨセフの生涯は創世記 37 章から 50 章まで 13 章の長きにわたって語られていますので、今回はその前半を見ることにします。

私たちは、予期しない苦難に会うことがあります。ヨセフもまた、苦難の多い人生を送りました。しかし、その苦難の中で、ヨセフは主に祝福されていきます。それは、主がヨセフとともにおられたからです。今朝学ぶヨセフの前半の生涯では、「主がヨセフとともにおられたので」ということばが繰り返されています。

中心聖句「彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のするすべてのことを成功させてくださるのを見た」（39:3）。

**1 ヨセフの生涯のあらまし。****（1）父に愛された（37:3）。**

ヨセフの父ヤコブには、レアとラケルという二人の妻がおり、兄たちは 10 人もいました。ヨセフは、父ヤコブが愛した妻ラケルの子で、しかもヤコブが年をとってからの子でしたので、特に父に愛されました。

**（2）兄たちに憎まれた（37:4-5）。**

ところが、ヨセフは兄たちに憎まれていました。それはヨセフが、兄たちの悪行を父に言いつけたからです。また、ヨセフの見た夢がいっそう兄たちの憎しみを大きくしました。その夢は、兄たちの束がヨセフの束にお辞儀をしているものでした。更に太陽と月と十一の星がヨセフを拜んでいるという夢も見ました。兄たちは、ヨセフが兄たちの支配者になり、父母までもがヨセフを拜むようになるのかと言って怒り、益々ヨセフを憎むようになりました。しかし、この夢は後に、現実のものとなります。

**（3）エジプトに売られる（37:12-45）。**

兄たちが羊の群れを飼うために出かけていると、ヤコブはヨセフを兄

たちの所に使いにやらせました。ヨセフが来ると、兄たちは日頃の鬱憤<sup>うつぶん</sup>を晴らすために、これ幸いとヨセフを殺そうとします。が、長男ルベンは殺すことに反対しヨセフを穴に投げ込みました。それは後でヨセフを救い出そうとしたからです。しかし、ルベンのいない間に、四男のユダがヨセフをエジプトに売ろうと提案。ヨセフはイシュマエル商人に売られ、エジプトに連れて行かれます。兄たちは、山羊を殺してその地をヨセフの服に塗り、父ヤコブに見せてヨセフが獣に殺されてしまったと思わせます。ヤコブは、「死んでヨセフの元に行きたい」と嘆き悲しみました。

#### (4) ポティファルは、主の祝福を見る (39:1-6)。

ヨセフは、このような苦難に遭いました。しかし、主はヨセフとともにおられたので、彼とその周辺の者たちは祝福されることになりました。

ヨセフを買い取ったのは、エジプト王パロの侍従長ポティパルでした。彼は「主がヨセフとともにおられて、主がヨセフのすることすべてを成功させてくださるのを」見ました。そして、家と全財産をヨセフに管理させました。その結果、ポティファルの家は祝福されました。

#### (5) 主人の妻の誘惑と濡れ衣 (39:7-23)

そんなヨセフに、またもや苦難がふりかかりました。

主人の妻はヨセフが体格もよく、美男子なので、彼を誘惑しました。ヨセフは「どうして、そのような悪事をして、私は神に罪を犯すことができましようか」と言ってきっぱり断ります (9)。しかし、彼女はさらに誘惑を続け、断られると今度は、ヨセフが自分を誘惑したと夫に言いつけました。怒ったポティファルはヨセフを牢に入れてしまいます。

#### (6) 牢獄での主の守り (39:20-25)

まったくの濡れ衣で、ヨセフは投獄されてしまいました。しかし、牢獄でも主はヨセフとともにおられ、牢獄長は、ヨセフにすべての囚人を委ねました。主がともにおられ、ここでもヨセフのなすことすべてを成功させてくださったのです。

#### (7) 獄中の夢 (40:1~41:36)

獄中で囚人となっていたエジプト王パロの献酌官と料理官が夢を見ます。ヨセフは、その夢を解き、献酌官は赦されます。ヨセフは献酌官に「釈放されたら、私のことを王に話してください」と頼むのですが、献酌官は

そのことをすっかり忘れ、ヨセフはなお2年間牢につながれたまま過ごすこととなります。

## (8) パロにエジプトの支配を任される (37-45)

エジプトの王が夢を見ました。が、それをそ解き明かす者がいませんでした。その時、以前ヨセフに夢を解いてもらった献酌官がヨセフの事を思い出し、ヨセフを王に推薦しました。ヨセフは王の夢を解き、王の夢は、7年間の豊作の後に7年間の凶作が来る。だから豊作の期間に凶作の期間のための蓄えをするようにと王に勧めました。それを聞いた王は「神の霊が宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか」(38)と言って、ヨセフにエジプト全土の支配を任せることになったのです。

## 2 ここから学べること。

これまでのことから学べることはたくさんあると思いますが、その中から2つのことだけを学んでみましょう。

### (1) 予期しない苦難に遭う。

兄に憎まれる。エジプトに売られる。誘惑され、濡れ衣を着せられる。牢に入れられる。助けた人に忘れられる。

ヨセフは、このような予期せぬ苦難に遭います。

私たちもまた、自分は何も悪いことはしていないのに、予期しない苦しみに遭うことがあります。

### (2) 主の祝福。

しかし、そのような苦難に遭ったヨセフは、いつも祝福されたことを学ぶことができます。

それは「主がヨセフとともにおられたからです」。ヨセフが頭が良かったから、有能な人間だったから、良い人だったからでしょうか。「主がヨセフとともにおられて、彼のするすべてのことを成功させてくださった」からです。

**適用**：では、主はいま、あなたとともにもおられるのでしょうか。主イエス様は、有能で善良な人だけとともにおられるのでしょうか。

イエス様は、イエス様を信じるすべての者とともにおられると約束しておられます。

イエス様は「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」と約束なさいました(マタイ 28:20)。

さらに、「わたしの遣わすもうひとりの助け主聖霊は、あなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられます」（ヨハネ 14:17）と言われました。

主があなたとともにおられます。そして主は、あなたをも祝福してくださろうとしておられるのではないのでしょうか。あなたは、そのことを信じますか。

使徒パウロは、こう書いています。「神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者にするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です」（Ⅱコリント 9:8）

## 勧め

ヨセフは、苦難に遭い続けました。けれども、主がともにいてヨセフを祝福してくださいました。主は、あなたとともにおられます。そして、あなたを祝福しようとしておられます。うそではありません。神様がそう約束しておられます。

そのことをもう一度、確認しましょう。そして、確認したら、いま主に感謝しましょう。

一緒に祈りましょう。

## 救い主として受け入れていない人への勧め。

あなたは、今日までイエス様を知らなかったかもしれませんが、しかし、イエス様はあなたを知っておられます。今日、今、イエス様のもとに帰っていらっしゃい。イエス様は、それを望んでおられます。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする（黙示録 3:20）

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」（使徒の働き 16:31）

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」（ヨハネ 3:16）